



日刊 日九月三  
新刊 日九月三  
新刊 日九月三

### 経済事犯防止の爲 警察部長が陣頭に 立ち縣下四ケ市に開催する

#### 方部的の警察署長會議

縣警察部では経済違反者の掃  
滅に努めてゐるが奸商共の巧  
計は物資の不足に乗じ其の筋  
目をぬすんで國賊的行爲を  
敢てし何喰はぬ顔であるもの  
を絶たれぬのでこれを徹底的  
に掃蕩すべく高橋警察部長並  
びに木村經濟保安課長が陣頭  
に立ち

### 平市大火事の想定 警防團總出の演習

#### 小名濱其他の警防團も應援

平警防團では既報の如く今九  
日の火災警防演習に於て  
全市火に包まれた想定の下に  
全員出動の演習を行つた出動  
開始の警鐘一點二打午前十時  
五分時を置かず駆けつけたもの  
消防部四十一、第一三三、第  
二部一九、配給班七、工作九  
救護一四、交通一九、防衛一  
〇、庶務五、計一五七名部署  
を率へて渡部平署長の訓示あ  
りて發火地(橋樑小路色川村  
木店置場)點を示され出火の  
サインと警鐘三點打と共に

ます飛火による左記の發火に  
市内大混亂を呈し各班の活動  
目ざましきものでありて午後演  
習を閉じた、  
▲二丁目仙台屋裏 同南側

### 上流の川前村に 腸チブス續發

#### 學生と部落民に豫防注射

石城郡川前村の上柳賢字澤尻  
宇佐見勝美妻だけ(三)は二ヶ  
月前程に實家である同村下柳  
實の久保田永山正徳方を訪ね  
て發病し去る二月二十日小野  
新町石塚醫師の診察で腸チブ  
スと判明隔離されたが其の時  
すでに病菌を散らされた同家  
の長男正龍(三)が二十五日に  
引續いて三月七日までに同地  
新妻庄久長女(一)同四男  
久一(一)及び同地宇敷林根本  
とよ子(三)同源次郎(三)大字  
川前山下谷矢内(一)等  
に續發したので何れも隔離收  
容中であるが尚ほ疑はしいも  
のが數名を算へられ殊に同地

#### 中堅農講の終講

石城郡中堅農講講習會の年度  
未續講習は去る二月十二日  
から昨日まで廿三日をつつ  
引續いて三月七日までに同地  
新妻庄久長女(一)同四男  
久一(一)及び同地宇敷林根本  
とよ子(三)同源次郎(三)大字  
川前山下谷矢内(一)等  
に續發したので何れも隔離收  
容中であるが尚ほ疑はしいも  
のが數名を算へられ殊に同地

### 戰地の便り

平市月見町出身  
小野武雄

### 日章旗はためく 支那良民の軒

謹啓、時下向來の御り貴家  
御一同様御變りも無之候や  
御何し申上候、陳者皆々様  
には時局柄御多忙にも不拘  
小生並びに不肖留守宅まで  
常に多大なる御厚情御鞭撻  
を賜り厚く御申上候、願

支那語  
日はお家ですかをミ  
ンチイエンツァイチア  
ン、私は家にいますせん  
は我不在家でウオア  
ツァイチアオ、お歸で  
すかはニーツァウマ  
よならはツァイチエン  
ツァイで再見再見

平銃砲店裏から銀治町方面  
へ延焼 仲町から公會堂の  
大建物は及ばんとする等の  
想定(以上)

偏罷在候、現下當地の關係  
は概して良好にて最近華  
氏四十度前後にて極寒に僅  
かの降雪は豫期され候も北  
滿、北支に比すれば内地と  
同様に有之候、我が武蔵と  
不斷の官撫工作は日に  
士民の間に徹底し當初逃避  
せし者も次第に復歸し既に  
治安維持會も結成され生業  
にいそしむは勿論進んで我  
が軍の便宜を計るまでに相  
成り半歳前戦火に廢墟と化  
し寂かな荒涼たりし戰場も  
日毎耕作せられて一昨深な  
き平野は麥、綿等が心持よ  
く萌えて河岸の紅葉斜陽  
に映え綴々たる部落の農村  
風景を偲ばれ申候、中支の  
興地たる當地にも日貨(食  
糧日用品、雜貨)の進出著  
しく進まされ銃後産業の息  
吹を心強く感じ居り候、目  
下蔬菜、肉類等は治安維持  
會を通じ買ひ求め居り新鮮  
なるこれら現地物資は吾々  
男同志の炊餐にても結構味  
覺を満足せしめ居り殊に白  
菜等は素時らしきもの有之  
大陸の生活には馴れし吾々  
に日常いさゝかの不自由も  
これなく候、さりながら冷  
雨身に浸む夕、霜白き曉、  
或は泥濘を渡す事有之候へ  
は筆舌を絶する事有之候へ  
共支那良民の我が日章旗は  
ためく所安んじて生業に就  
くを見る時興亞の先驅とし  
て最前線に御奉仕する私共  
はひとしく限りなき満足  
を覺めると共に皇國の有難さ  
を今更身にしみて感ぜられ  
申候、

### 農事特別講習

十一日講習授與  
縣農試石城分場の農事特別  
講習會は來る十一日同場に開催

### 記念事業

石城郡川前村では紀元二千六  
百年記念事業につき植林その  
他を計畫されてゐたが同村で  
は十三年度の決算に六千四百  
二十五圓八十六錢の繰越金を  
得たのでこれを同事業費に充  
て、忠靈塔の建設、村會議事  
堂建設(二階建として階下を  
倉庫に使用)及び記念植樹に  
村有地二町歩を先行すること  
になつた

### 興亞の礎

石城出身の勇士  
若松勝義上等兵、石城郡  
飯野村の南白土出身、立花  
部隊に屬し活躍してゐたが  
一月十七日遂に名譽の戦死  
を遂ぐ、同君は父興七(六)  
母はよさん(四)の五男で  
實家に長兄勝雄さん(三)と  
其の妻すえさん(三)の間  
に五人の子供があり次兄の  
隆行さん(三)弟博志(二)さ  
らんも共に農業を営んでゐる  
上遠野村の白幡出身、立花  
部隊下に奮戦中の中支戦線  
に於て一月十四日名譽の戦  
死をなす、同君は滿州事變  
にも出征した勇士で實家に  
は母とよ(七)さんと妻さつ  
さんとの間に未だ父を見ぬ  
遺児信一郎(四)君がある

### 待合ホームに スピーカー

平驛に架設される  
平驛の待合室及びプラットホ  
ームに架設する擴音器は十四  
年度に於て設けられる管を種  
内が廣く豫算の關係で少額で  
間に合ふ日立驛(舊助川)をさ  
きにされてゐたが十五年度豫  
算に於て架設することに決ま  
つた個数は大休八ヶ所を見込  
まれ工費七、八千圓位かと云  
はれてゐる

### 乃木將軍遺品展

石城郡四倉町では同町防婦  
人分會と鷗鳴會の主催で今九  
日小學校に乃木將軍遺品展を  
開催し同時に將軍の精神普及  
會長船實時文氏の講演會があ  
つた

### 勿來町の新豫算

石城郡勿來町の新豫算訂會は  
去る七日で議了閉會したが總  
額七萬七千二百三十一圓で特  
戸割の一戸當り二十四三圓特  
戸當りを前年に比すれば増戸  
の爲め三十八錢七厘を減じた

### 定期種痘

平市に於ける定期種痘は來る  
四月四日、五日、六日左記方  
部に於て施行されるが検診  
は何れも種痘一週間後である  
▲四日若松醫院にて、大町  
十五丁目、月見町、四丁目  
堤の内、新川町▲同日村上



尼子亭  
新旅館  
別荘温泉

# 産業方面

## 馬鈴薯原料で 代用ゴム糊

輸入の統制から染織、工業用のゴム糊の拂底に悩んでおる折柄、馬鈴薯を原料としていくらでもとれると云ふ珍らしい代用糊が前橋工業試験場の研究によつて生れた、ゴムの輸入統制による不足は染織、木工等擴い需要をもつてゐるので其の價は實に夥しいものがあるためこれが對策に群馬縣の前橋工業試験場に於ては昨十四年の二月から代用糊の見出すべく研究をはじめたのであるが苦心奮闘に一ヶ年漸く其の努力が報いられてこのほど同試験場の技手關谷雄氏(芸)の手によつて「人造糊」が完成したものである、この代用品の特色とするところは従來のゴム糊に比較し五十倍と云ふ強靱な粘着力を持ち原料は馬鈴薯の澱粉、蛋白質の加合物で物資は極めて豊富なものである、それのみならず藥品、加工等の諸雜費を入れて原液一ポンドの値段は僅かに四十五錢と云ふ低廉さであつて需要關係業者に非常な喜びを與へてゐるこの代用ゴム糊「人造糊」は前記の廉價と強靱な粘着力と云ふに歡迎されてゐるばかりでなく更に至難とされてゐたところのスフの防蝕にも立派に應用が出来る多種多用のものである、この代用糊の成功に勇躍したる關谷技手は更に今一步進んで澱粉、蛋白質合成の「人造ゴム」完成へ邁進することになつてゐるがこれも

遂からず達成するものと期待をかけられてゐる(完り)

スペイン GHN 元詰  
ゴルフポートワイン  
甘味葡萄酒  
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です  
(平二) 西村屋薬舗 (電三)

肉の御用命は  
**三三三屋**  
牛も豚も優良品の自慢

**お醤油は ヤマフル**  
醤油、味噌、たひら正宗、鮮節食料品  
明治生命製糖代理店  
山崎合名會社  
電話 本営業部 二七〇番  
山崎與三郎

内科、小兒科  
**大森醫院**  
醫學士 大森勇  
平市南町 電二五八番  
入院 應需

タバコを ヤメルのに 不思議の妙薬  
確實に禁煙に成功の出来る  
禁煙 **ニコチロン** 一瓶を  
含嗽劑  
是非御使用を御勧め致します  
專賣店 漢方胃腸藥の **山野邊藥局**

專 門 皮 膚 科  
泌 尿 器 科  
性 病 科  
診 療 時 間 午前八時より 午後九時まで  
醫學博士 江尻伊三郎  
平市田町 電話六九一番  
**院醫尻江**

電話 買ひます 何れにも有利な御相談に應じます  
電話 賣ります  
平市 田町一 **五十嵐 茂**  
電話 六二六

和洋銅鐵、金物問屋  
**店商屋釜**  
九九・九電

便利で 經濟な **日下家政婦會** の 派出婦を御利用下さい  
身元確かで品行方正ですから 何を任せしてもご安心です  
平市一丁目三十一番地 電話七二三番  
**日下家政婦會** 會長 日下すい子  
會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や)を御誘ひ致します(編物を教授致します)

平田町(三丁目裏川岸通)  
**明雲堂眼科醫院**  
電話 六六九番  
入院應需(自炊の便あり)

**平病院** (平市元共濟病院跡)  
院長 醫學博士 鈴木定藏  
副院長 長 鈴木定藏  
副院長 長 高橋俊幸  
副院長 長 鈴木定藏  
物理療法科 院長 長 鈴木定藏  
皮膚泌尿科 院長 長 鈴木定藏  
小兒科 副院長 長 鈴木定藏  
内科 副院長 長 鈴木定藏  
外科 副院長 長 鈴木定藏  
藥劑科 部長 長 吉本孝平  
診 療 時 間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診察に従事す(急患は此の限りならず)

内科、兒科  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科  
平市田町 電話五一三番  
**高久病院**  
院長 醫學士 高久忠

類品洋とンバカ  
  
安田系統の帝國海上  
**帝國 海上 保險株式會社**  
火災 代理店 關内正一郎  
事務取扱者 阿部助次郎  
平市三丁目 電話一六番

安田系統の帝國海上  
**帝國 海上 保險株式會社**  
火災 代理店 關内正一郎  
事務取扱者 阿部助次郎  
平市三丁目 電話一六番